

第 6 回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ 6th RIEC International Workshop on Spintronics

開催日：平成 22 年 2 月 5 日（金曜日）～ 6 日（土曜日）（2 日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

参加人数：133 名

2010 年 2 月 5, 6 日の両日に、本学電気通信研究所が主催する標記国際ワークショップが附属ナノ・スピン実験施設において開催された[組織委員長：通研・大野英男教授、本学電気情報系 GCOE プログラム「情報エレクトロニクスシステム教育研究拠点」との共催、本学金属材料研究所での 4th Intl. WS on Spin Currents & 2nd Intl. WS on Spin Caloritronics (2 月 8-10 日)とのジョイント開催]。参加者 133 名の内、国外からの参加者は 54 名を数えた。アメリカ、フランス、ドイツ、ポーランド、チェコ、韓国、日本から 20 名の研究者を招待講演者として迎えた。2007 年度にノーベル物理学賞を受賞した A. Fert 先生は招待講演者の一人として参加され、また同賞を Fert 先生と同時受賞した P. Grünberg 先生の参加もされた。ポスターセッションでは、中国、韓国、日本から 26 件の一般講演があった。ワークショップの内容は非磁性半導体、磁性半導体、金属磁性体の作製方法と材料物性から、それらを利用した素子特性、集積回路まで、基礎物理から最新の工学応用を含む幅広い話題をカバーした。活発な議論を通して、スピントロニクスの研究開発動向と将来の方向性が明らかとなり、非常に有意義なワークショップとなった。学内外からの学生の参加も多数あり、学生の国際性を育むという観点からも大きな成果を得ることができた。本ワークショップ開催にあたり財団法人電気通信工学振興会、本学金属材料研究所、文科省特定領域研究「スピン流の創出と制御」よりご支援を頂いた。ご支援を賜りました各位に心より御礼申し上げます。

